

2025年度第2回 にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会

【日 時】

2025年12月7日（日）13:00-17:00（予定）

【場 所】

新潟大学歯学部講堂、ZOOMによる配信のハイブリッド開催

【タイムスケジュール】

12:30 受付開始

13:00 開会挨拶（井上会長）

13:05 症例報告、開業医研修紹介

「摂食嚥下障害の病態評価から原疾患の診断に至った一症例」

座長 吉原 翠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 西 沙織先生

研究会活動紹介（伊藤）

13:30 **講演1 「睡眠と口腔機能の新しい視点 — 嚥下、睡眠時無呼吸、多職種連携」**

(60分講演、10分質疑)

座長 井上 誠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 中山秀章先生（東京医科大学睡眠学講座 客員教授）

14:40 **講演2-1 「「OISHIEN」でつなぐ！多職種連携 —摂食嚥下情報共有システムの活用—」**

座長 真柄 仁先生（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 病院准教授）

講師 真柄 仁先生（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 病院准教授）

講演2-2 「頸部装着型デバイスによる咀嚼・嚥下機能評価エビデンス」

座長 真柄 仁先生（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 病院准教授）

講師 下柿元智也先生（PLIMES 株式会社 代表取締役副社長 兼 共同創業者）

15:20 **企業紹介**

15:50 **講演3 「耳鼻科診療所で行う外来嚥下診療・食物窒息の予防と対策」(60分講演、10分質疑)**

座長 辻村恭憲先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 加藤健吾先生（かとう耳鼻咽喉・嚥下クリニック 院長）

17:00 閉会挨拶（張替副会長）

17:15 （希望者）**ワンコインカフェ**

歯学部講堂脇のスペースにて、お菓子とコーヒーを準備し、交流会を行います。

18:30 終了予定です。

講演 1 睡眠と口腔機能の新しい視点 — 嘸下、睡眠時無呼吸、多職種連携

中山 秀章（なかやま ひであき）先生

（東京医科大学睡眠学講座 客員教授）

＜抄録＞

摂食嚥下は覚醒時の基本的な活動である一方、睡眠中にも唾液分泌や嚥下は持続しています。しかし、この睡眠中の嚥下機能についてはこれまで十分に注目されていませんでした。

近年、睡眠障害と口腔衛生との関連が報告されており、とくに睡眠時無呼吸では上気道開大筋（とくにオトガイ舌筋）の活動低下が病態に関与することが知られています。その補完的治療法として、Myofunctional therapy（口腔筋機能療法）が注目されています。

本講演では、呼吸器科医の立場から、睡眠と嚥下の関わり、さらに睡眠時無呼吸と口腔機能との関連について解説します。医師の方をはじめ、歯科医・歯科衛生士・栄養士・言語聴覚士などの皆様に、日常臨床での連携に役立つ知見を提供したいと考えています。

＜ご略歴＞

1990 年 新潟大学医学部卒業

1998 年 医学博士

1999～2001 年 米国ウスコンシン州立大学留学

2006 年 新潟大学医歯学総合病院第二内科助手

2010 年 同講師

2013 年 東京医科大学病院呼吸器内科 准教授

2019 年 同睡眠学講座 教授

理事：日本睡眠学会、日本睡眠検査学会

評議員：日本呼吸ケア・リハビリテーション学会（～2019）

研究会：睡眠呼吸障害研究会 代表世話人、スリープアプネアカンファレンス 代表幹事

講演 2-1 「OISHIEN」でつなぐ！多職種連携－摂食嚥下情報共有システムの活用－

真柄 仁（まがら じん）先生

(新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 病院准教授)

<抄録>

摂食嚥下障害患者が専門的な嚥下機能評価と食支援を適切な頻度で受けることを実現するため、摂食嚥下情報共有システム「OISHIEN」を開発しました。本システムは D to P with D を想定し、食事中の動画・音声や検査画像の共有、現病歴や食形態・指導内容の記録、専門医への相談、多職種での情報共有を可能にする Web アプリです。本講演ではそのアプリの仕様、実際の使用例、および次の講演で紹介する電子聴診器 GOKURI との連携を含む活用例を供覧します。

<ご略歴>

2006 年 新潟大学歯学部卒業
2012 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科 修了（博士（歯学））
2012 年 新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 助教
2014 年 英国マン彻スター大学 Research fellow
2015 年 新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 講師
2024 年 新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 病院准教授

講演 2-2

頸部装着型デバイスによる口腔・嚥下機能評価

下柿元智也（しもかきもと ともや）先生

(PLIMES 株式会社 代表取締役副社長 兼 共同創業者)

<抄録>

本発表では、頸部装着型電子聴診器 GOKURI を用いた咀嚼・嚥下機能評価に関するエビデンスを概説します。頸部の生体音から得られる嚥下音と食塊移送の関係性、5mL 飲水時の嚥下音延長やクラッカーの咀嚼嚥下の定量評価を中心に、年齢・性別差の研究に関する解説をします。加えて、食品物性と摂食嚥下運動との関連を示し、安全な食形態設計および評価への応用可能性、在宅・施設を含む日常場面での活用の展望について述べます。

<ご略歴>

2012 年 筑波大学、システム情報工学研究科、知能機能システム専攻にて、博士（工学）を主として修士（医科学）のデュアルディグリー。（修士（工学）も修了）
2013 年 筑波大学、人間総合科学研究科、フロンティア医科学専攻
2013 年 Technical University of Denmark, Visiting Researcher
2014 年 日本学術振興会 特別研究員（DC2）
2015 年 国立大学法人 筑波大学特別研究員
2016 年 国立大学法人 筑波大学システム情報系研究員
2018 年 PLIMES 株式会社 現在に至る

講演 3 耳鼻科診療所で行う外来嚥下診療・食物窒息の予防と対策

加藤 健吾 (かとう けんご) 先生

(かとう耳鼻咽喉・嚥下クリニック 院長)

<抄録>

私は大学病院嚥下センターを退職した後、「耳鼻科と嚥下のクリニック」を開設し、一般耳鼻科診療の傍ら、VE, VF, 外来嚥下訓練等の嚥下診療を行ってまいりました。当院で行っている外来嚥下診療の概要を皆様に供覧するとともに、地域における嚥下診療の在り方について考えたいと思います。加えて、嚥下障害に伴い誤嚥と並び大きな問題となる食物窒息について、誤嚥とは異なるメカニズム、予防、発生時の対策について概説したいと思います。

<ご略歴>

1999年 東北大学医学部 卒業、東北大学 耳鼻咽喉科学教室 入局

2005年 東北大学大学院 医学系研究科 卒業（医学博士）

山形市立病院済生館、国立仙台医療センター、宮城県立がんセンター、大崎市民病院などで勤務

2019年 東北大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師、嚥下治療センター ディレクター

2020年より現職

役職等：日本嚥下医学会 評議員・用語委員・嚥下相談医委員、日本摂食嚥下リハビリテーション学会 摂食嚥下機能評価実習研修会委員、日本臨床耳鼻咽喉科医会 学術委員 等

にいがた摂食嚥下障害サポート研究会



にいがた摂食嚥下障害サポート研究会は、摂食嚥下障害への理解促進や摂食嚥下障害に係る介護関連用品等の質的向上を図ることを目的に設立された研究会です。



只今、研究会会員を募集しています。

● 講演会・セミナー ●



新潟県内外より多くの講師を招いて行う摂食嚥下障害に関する講演会(ハイブリッド方式)を開催しています。また、摂食嚥下セミナー(対面方式)を隔週実施しています。



● 食の支援ステーションの運営 ●

介護食品・食器具、ケア用品などを展示しています。
(チラシ裏面をご覧ください)



● メルマガ配信 ●

月1回、摂食嚥下に関する最新の情報をお届けしています。

● ぱりあふりーお食事会 ●

摂食嚥下障害児童とご家族に外食する機会を提供するとともに、人材育成も行っています。

お問い合わせ

にいがた摂食嚥下障害サポート研究会事務局 (担当:伊藤)

連絡先: 〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274

新潟大学医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野

Tel 025-227-2999 Fax 025-227-2998

<https://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~dysphagia/support/>



食の支援ステーション

介護食や福祉食器などの展示をしています。
詳しいご相談は専門スタッフが承ります。



食の支援ステーションでは、新潟大学医歯学総合研究科、県内外の病院および企業が連携し、患者さまの困っていることを伺ったうえで、支援を実施するとともに、ご要望を新しい製品開発に活かしています。
見学も可能ですので、ぜひお立ち寄りください。

食の支援ステーション 開設時間

月・木曜日 10:00~13:00、14:00~16:00

火・水・金曜日 10:00~13:00

祝日、お盆、年末年始はお休み

新潟大学医歯学総合病院



場 所

〒951-8520

新潟市中央区旭町通1番町754番地

新潟大学医歯学総合病院

アメニティーモール

LAWSON様となり バス待合室内

お問い合わせ

にいがた摂食嚥下障害サポート研究会事務局 (担当:伊藤)

連絡先: 〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274

新潟大学医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野

Tel 025-227-2999 Fax 025-227-2998

<https://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~dysphagia/support/>



豊かな超高齢社会を過ごすために

2025年度 摂食嚥下セミナー

美味しい、安全に、しっかりと食べることは
「健康」のみならず「豊かな生活」にとって必須のアイテム
当院専門スタッフとともに「摂食嚥下」を学びましょう！

先着60名
予約不要
入場無料

日 時：第2、4木曜 13:00～14:30
下記スケジュールを参考のうえ
興味のある日程にご参加ください

会 場：新潟大学医歯学総合病院
アメニティモール研修室
(LAWSON向かい)

5/22	「身体の機能低下」を知ろう	11/13 「身体の機能低下」を知ろう
6/12	言語聴覚士から学ぶ「言語訓練」	11/27 「食べる・飲み込む」の訓練を知ろう
6/26	「むせ」への対応と訓練（明倫短大教授講義）	12/11 口腔ケアのプロになろう！
7/10	「食べる」仕組みを知ろう	12/25 「食べる」の仕組みを知ろう
7/24	管理栄養士から学ぶ「高齢者の栄養」	1/8 「口の機能低下」を知ろう
8/14	口腔ケアのプロになろう！	1/22 食事介助のプロになろう！
8/28	くちのかわき・味覚障害について知ろう	2/12 地域の病院に学ぶ（新潟南病院歯科）
9/11	「口の機能低下」を知ろう	2/26 「食べる・飲み込む」の訓練を知ろう
9/25	食事介助のプロになろう！	3/12 噫むことのたいせつさ（明倫短大教授講義）
10/9	睡眠について知ろう	3/26 くちのかわき・味覚障害について知ろう
10/23	管理栄養士から学ぶ「高齢者の栄養」	※テーマは変更となる場合があります。 下のQRコードから適宜ご確認ください。



← 詳細はこちらから！
問い合わせ：新潟大学医歯学総合病院
摂食嚥下機能回復部 小貫(おぬき)
電話：025-227-2999

アメニティモール研修室

大学病院の外来診療棟に向かって右側、
LAWSONが入っている建物の、休憩スペース奥にあります。
アメニティモール内には、介護食品や介護食器具の展示ブース
「食の支援ステーション」にも、是非お立ち寄りください。

食の支援ステーション（バス待合室内）

月・木 10:00-13:00, 14:00-16:00

火・水・金 10:00-13:00

